

富山を代表する三人による、 カラーレだけの特別朗読劇が実現!



朗読劇

富山版

蜘蛛の糸



西村 まさ彦



室井 滋



本木 克英

女と男の思い違い、すれ違い
富山の才能が集結した最高の泣き笑い舞台!

第一部

朗読劇

「富山版 蜘蛛の糸」

第二部

朗読劇「水仙」

第三部

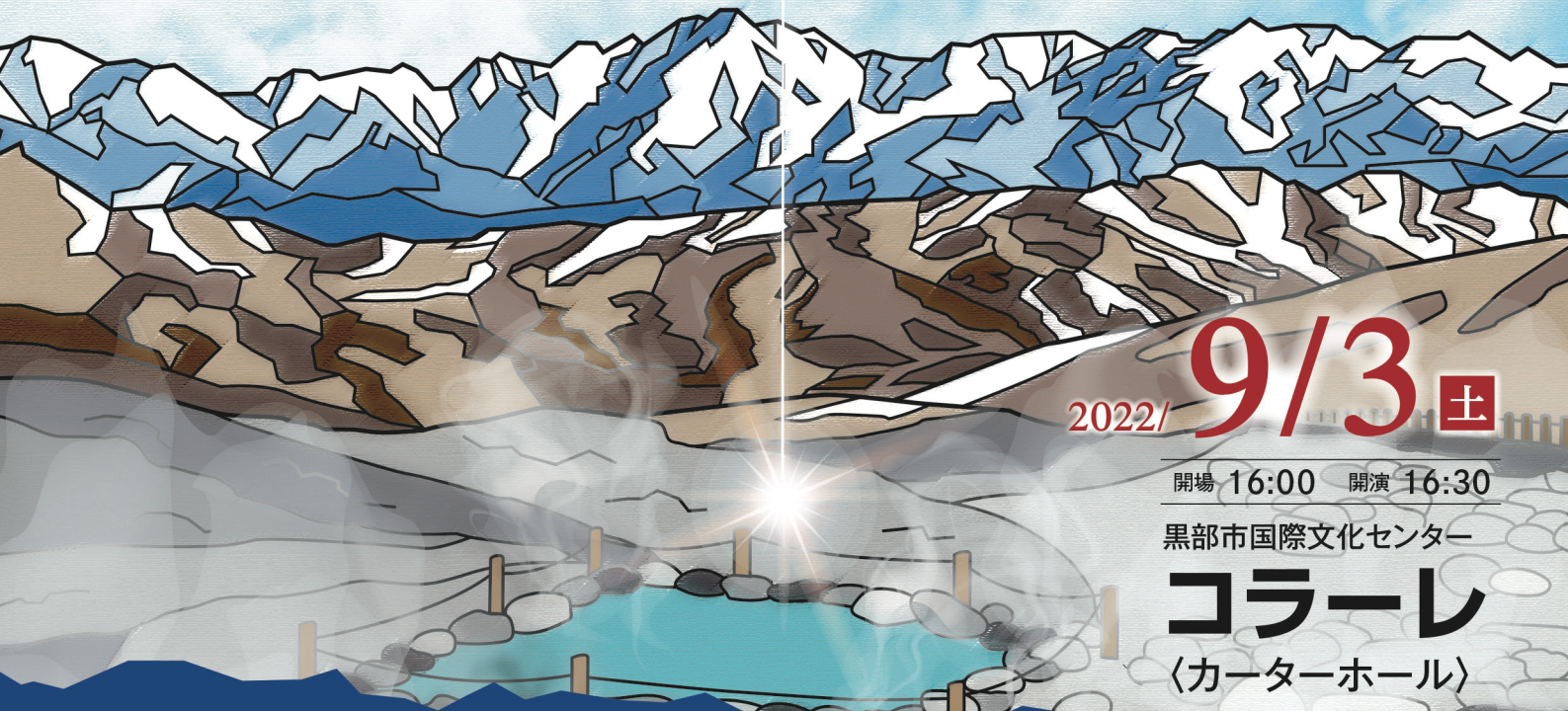
トークショー

出演/室井 滋

西村まさ彦

演出/本木克英

脚本/谷本佳織



2022/ **9/3** 土

開場 16:00 開演 16:30

黒部市国際文化センター

カラーレ
〈カーターホール〉

全席指定

一般
4,000円

高校生以下
1,000円
(カラーレでのみ発売)

障がい者手帳をお持ちの方
3,500円
(カラーレでのみ発売)

チケット一般発売
7月10日(日) 9:00~

プレイガイド: カラーレ、黒部メルシー、
チケットぴあ (Pコード 513-663)

●お問い合わせ● 黒部市国際文化センター カラーレ
〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地
TEL.0765-57-1201 http://www.colare.jp/
FAX.0765-57-1207 info@colare.jp



ご来場のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

- 手洗い、消毒液のご利用をお願いいたします。
 - マスク着用にご協力ください。
 - 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公演が中止・変更になる場合があります。
最新情報はHPをご覧ください。

主催/公益財団法人黒部市国際文化センター

協賛/富山テレビ放送 後援/黒部市 黒部市教育委員会 北日本新聞社
制作協力/エース・プロダクション

●未就学児の入場はご遠慮願います。 ●車椅子の方、補助犬をお連れの方は、
座席の相談を承りますので、カラーレまでお問い合わせください。 ●この公演は
黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。

第1部 芥川龍之介「蜘蛛の糸」

(富山弁バージョン)



俳優・室井滋と西村まさ彦の二人が、芥川龍之介の名作を富山弁朗読劇で披露します。

お釈迦様が極楽の蓮池のほとりを散歩していたところ、遙か下の地獄の血の池で一人の男がもがいているのが見えました。この男は生前、殺人や放火などたくさんの悪事を働いた大泥棒。そんな男でも生涯に1度だけ、道端の小さな蜘蛛を足を上げて踏み殺そうともしましたが、小さいながらも命のあるものと、思いとどまり助けてやったことがありました。それを思い出したお釈迦様は男を救い出してやろうと考えて、地獄に向かって蜘蛛の糸を垂らしたのです。男は1本の銀色の糸に気づき、必死に糸を上り始めます。かなり上ってきた男が、ふと下を見ると何千何百という罪人が重なるように上ってきています。

1本の蜘蛛の糸に大勢ぶらさがった罪人を、名優二人が演じ分けます。

第2部 林 芙美子「水仙」

男と女の腐れ縁は、恋愛だけでなく親子の間にもあります。

戦中戦後の厳しい状況下、たまえは駆け落ちをしたものの、男には捨てられてしまいます。たまえは息子の作男を女手ひとつで必死に育ててきました。一方の作男は、体も意思も弱く、何をやるにもいい加減な男。たまえは40歳という年齢を迎え、若さもなく頼れる男もなく落ちぶれ、金を無心する息子と言い争いばかりしています。息子がいなかったら、息子さえいなければ、もっといい人生が遅れたのでは……と母は思い、息子もそんな母を疎ましく思いながらも離れることができません。そんな時、作男は北海道の炭鉱の働き口を紹介され、行くことに。出発の日、親子で歩く銀座は楽しそうな人ばかり。別れがたいが、でもどこかでホッとするたまえ……。

親子という男女の心模様が複雑に絡み合い、切なく迫ります。

第3部 トークショー

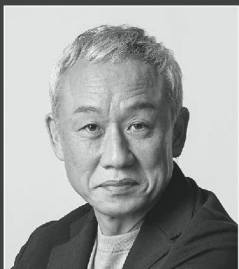
富山最高トークショー!! 出演の二人に加え、演出を担当した映画監督・本木克英が、朗読劇の誕生秘話や富山の思いと魅力をしゃべりまくります。

Shigeru Muroi



室井 滋(女優)

富山県出身。早稲田大学在学中に1981年映画『風の歌を聴け』でデビュー。映画『居酒屋ゆうれい』『のど自慢』『OUT』『ヴィヨンの妻〜桜桃とタンポポ〜』などで多くの映画賞を受賞。2012年日本喜劇人大賞特別賞、2015年松尾芸能賞テレビ部門優秀賞を受賞。2021年映画『大コメ騒動』『草の響き』に出演。ディズニー映画『ファインディング・ニモ』『ファインディング・ドリー』日本語版のドリーの吹替えや、FMとやま、FM山形で放送の『室井滋のしげちゃん☆おはなしラジオ』、KNBラジオ『室井滋のそいがそいがザイゴなが』など、ラジオ、朗読などにも多く出演。新刊絵本に『しげちゃんのはつこい』(金の星社)、『会いたくて会いたくて』(小学館)。近刊エッセイ『ヤットコスツコ女旅』(小学館)、『おばさんの金棒』(毎日新聞出版) 他電子書籍化含め著書多数。全国各地でしげちゃん一座絵本ライブを開催中。映画『7人の秘書 THE MOVIE』(田村 直己 監督) 10月7日公開。



西村まさ彦(俳優)

12月12日生まれ、富山県出身。フジテレビ系ドラマ『古畑任三郎』の今泉慎太郎役で注目を浴びて以降、様々な作品で幅広い役を演じている。

近年ではNHKドラマ『白い濁流』、テレビ東京『つまり好きって言いたいんだけど』、NHKドラマ『剣樹抄』などに出演。

また映画では『お終活 熟春! 人生、百年時代の過ごし方』、映画『大河への道』、映画『バスカヴィル家の犬 シャーロック 劇場版』などに出演している。

Masahiko Nishimura



本木 克英(映画監督)

富山県出身。早稲田大学政治経済学部卒業後、松竹に助監督入社。森崎東、木下恵介、勅使河原宏などの監督に師事し、米国留学、プロデューサーを経て、1998年『てなもんや商社』で監督デビュー。第18回藤本賞新人賞を受賞。『超高速! 参勤交代』(2014) でブルーリボン賞作品賞、日本アカデミー賞優秀監督賞など受賞。『空飛ぶタイヤ』(2018) で第42回日本アカデミー賞優秀監督賞受賞。日本映画監督協会理事長就任。2022年、日本映画復興賞受賞。

主な作品は、『釣りバカ日誌』シリーズ11~13 (2000~2002)、『ゲゲゲの鬼太郎』(2007)、『犬と私の10の約束』(2008)、『鴨川ホルモー』(2009)、『おかえり、はやぶさ』(2012)、『すべては君に逢えたから』(2013)、『映画 少年たち』(2019)、『居眠り磐音』(2019)、『大コメ騒動』(2021) など。

Katsuhide Motoki